

# 日本韓国語教育学会 第13回 国際学術大会 プログラム

<ポストコロナ時代におけるKコンテンツを用いた韓国語教育方法の探索>

日時：2022年11月5日(土) 9:30~17:30

場所：愛知学院大学 名城公園キャンパス

第1部：研究発表 I		
09:30-10:00	受付開始	
	<b>第1分科(1101)</b> <b>実践韓国語教授法</b> 司会:鄭鍾熙 (立命館アジア太平洋大学)	<b>第2分科(1103)</b> <b>韓国語学/韓国語教育学(非対面発表)</b> 司会:李相穆 (九州大学)
10:00-10:30	日本人韓国語学習者を対象とした会話教材の 必要性について 全相律・洪妍定・申知元 (神田外語大学)	生涯学習としての韓国語教育に関する ニーズ分析 金銀珠 (北海道情報大学)
	討論者：印省熙 (早稲田大学)	討論者：金昌九 (藤女子大学)
10:30-11:00	ピクトグラムを用いた韓国語教材試案 水野俊平 (北海商科大学)	韓国語教育に活かす共通理解のための 現象学の可能性 河崎悠平 (東豆川外国語高等学校)
	討論者：李淑炫 (昭和女子大学)	討論者：金世徳 (大阪観光大学)
11:00-11:30	日韓対人コミュニケーションを題材とした クリティカル・インシデントの開発 申知元 (神田外語大学)	日韓対照言語学的観点から見る ‘-고있다-아/어있다’の証拠性 實近麻里 (高麗大学校大学院)
	討論者：李暎洙 (韓国放送大学)	討論者：睦宗均 (近畿大学)
11:30-12:00	20대 한국어 및 한국문화 학습자의 관심도 조사 및 분석 張眞英・金永鍾 (岩手大学・金沢工業大学)	팬데믹에서의 온라인 수업에 대한 해외 한국어 학습자의 인식 조사 池緒媛 (シンガポール国立大学)
	討論者：Duck-Young Lee (Australian National University)	討論者：陳慶智 (台湾国立政治大学)
12:00-13:00	昼休み	
第2部：開会・基調講演		
13:00-13:30	<b>開会式(1101)</b> 開会 : 徐寅錫 学術大会運営委員長(目白大学) 開会の辞: 文嬉眞 学会長 (愛知学院大学) 祝辞 : 朴先哲 駐名古屋大韓民国総領事館 総領事 堀江俊通 (一社)日韓経済文化交流協会 会長 金ジオン 韓国国際交流財団(KF) 東京事務所長 記念撮影	
13:30-14:50	<b>基調講演(1101)</b> <b>ポストコロナ時代におけるKコンテンツを用いた韓国語教育方法の探索</b> <b>—韓国言語文化教育におけるKコンテンツの活用法—</b> 張香實 前 国際韓国言語文化学会(INK) 学会長 (尚志大学校)	

第3部：研究発表Ⅱ

	<b>第3分科(1101)</b> <b>実践韓国語教授法</b> 司会:李銀淑 (大阪女学院大学)	<b>第4分科(1103)</b> <b>韓国語学/韓国語教育学</b> 司会:朱炫姝 (目白大学)
15:00-15:30	메타버스를 활용한 한국어의 학습 효과에 대한 연구 李相穆 (九州大学)	日韓語の指示詞の対照研究－文脈指示用法の使用頻度を中心に－ 李康元 (名古屋大学大学院)
	討論者：吳文慶 (成均館大学)	討論者：李澤熊 (名古屋大学)
15:30-16:00	ポストコロナ時代の授業方法とKコンテンツ活用についての一考察 －「韓国古典文学」の授業実践を中心に－ 徐寅錫 (目白大学)	韓国語日常会話における不同意表明とその後の聞き手の行動についての研究： 会話者の関係性に着目して 洪妍定 (神田外語大学)
	討論者：李東哲 (中国、山東外事職業大学)	討論者：權恩熙 (小樽商科大学)
16:00-16:30	韓国語接続形の誤用を防ぐための指導法とドリル 印省熙・山田佳子・宋美玲・白寅英 (早稲田大学・新潟県立大学・東京外国語大学・獨協大学)	社会的価値を脅かす攻撃的発話に対する反応－日韓大学生調査を中心に－ 河正一・趙智英・金民主 (大阪公立大学・同志社大学・光州教育大學校)
	討論者：金珉秀 (東海大学)	討論者：崔壯源 (國際教養大学)
16:40-17:00	閉会式及び総会(1101)	
18:30-20:30	懇親会(KKRホテル名古屋)	